



## 「えん罪・JR浦和電車区事件」から18年！

「えん罪・JR浦和電車区事件」とは

2001年1月、浦和電車区（現さいたま運転区）にて、東労組運動を否定する発言や嘘を繰り返すY君の信頼を回復する集会と事実を組合員に伝える拡大闘争委員会で、美世志会7名がY君を脅迫し組合の脱退と会社を退職させたとして、2002年11月1日に突然逮捕された「えん罪事件」です。

権力の目的は？

美世志会は取り調べの中で「組織を半分にしてやる」「平和運動なんて生意気」「組織を内部から変えられないから国家権力が介入するんだ」と言われました。当たり前の労働運動や平和活動をする東労組を公安警察主導の国策捜査で潰すことが、この事件の本質です。

どうしてえん罪なの？

1. 公判で明らかになった検察側の歪められた真実が複数ありました
  - ①拡大闘争委員会に参加したとされる大潤さんは役員ではないため参加していない。山田さん・八ツ田さんは勤務の為参加できていない。
  - ②達示室通路で1時間取り囲んだとされる小黑さんはすれ違っただけで会話もしていない。
  - ③事件の首謀者とされる梁次さんは、Y君と2回しか会ってない。
  - ④脱退届を出した場に居たとされる斉藤さんは乗務中。
  - ⑤Y君が隠し撮りしたテープの反訳がすり替えられている。
2. 警察・検察の異常な行動
  - ①被害届が出された2002年2月11日より前の2001年12月21日から捜査本部が設置されている。
  - ②被害届を書いたのは公安刑事でY君はサイン・押印したのみ。裁判では訴えた罪名すら分からない。
3. 公平・公正な裁判ではない
  - ①裁判官の相次ぐ交代があり、60回の公判中6回も交代がありました。
  - ②Y君の証言を直接聞いた裁判官は1人もいないのに「Y君の証言には信憑性がある」と認定。

会社の対応

当時の区長は、Y君に対し「あなたの言うようないじめは把握していない」と話し、公判の中でもY君の退職は人事異動とか、他の理由で退職した方の件とも大体同等レベルの話と考えると犯罪行為がなかったと証言しました。しかし、2007年8月30日に美世志会6名に対し「職場秩序を著しく乱し会社の信用を著しく失墜せしめた」として「懲戒解雇処分」を発令しました。信濃川発電所不正取水問題でJR東日本会社は、信用を著しく失いましたが会社幹部の辞任はありませんでした。

事件を風化せず、抵抗とヒューマニズムの精神でたたかおう！  
会社は社員を簡単に切り捨てる！甘い言葉に騙されるな！